



SDGs×ESD レポート Vol. 18

ESDは（Education for Sustainable Development）略称で「未来を変える人づくり」を意味します。

発行：NPO法人持続可能な開発のための教育推進会議（ESD-J）

暦の上で秋立つとはいえ、厳しい暑さが続き、マスクの手放せない夏はとても辛いですね。今、アフリカ・ウガンダを訪問していますが、乾季の水不足が深刻で、学校の手洗いのための水の運搬に日々数時間かかっている地域が多々あります。水なしに清潔を保つのは非常に難しいと実感しています。他方、雨が降ると豪雨となり洪水を引き起こしやすく、気候変動に翻弄される脆弱な人々がとても多いことを改めて認識しています。

新体制スタート！

2022年度 通常総会 実施報告



【役割分担表】

6月19日に総会をオンラインで開催し、全国から36名が参加しました。新理事体制、そして「2030年に向けたESD-J活動計画」に基づく事業計画、今後の展開に力点を置いて説明させていただきました。そして、今年度の理事の役割分担が以下の通り決まりましたので、ご報告いたします。



代表理事	小玉 敏也、鈴木 克徳
副代表理事	浅井 孝司、池田 満之、新海 洋子
組織運営委員	浅井 孝司、池田 満之、小玉 敏也、新海 洋子、鈴木 克徳
総務・労務・経理担当理事	浅井 孝司、池田 満之
広報担当理事	福井 光彦、松田 直子
全国センター情報収集発信	鈴木 克徳、松浦 英人、野口 扶美子
人材育成事業	小玉 敏也、鳥屋尾 健、與儀 滝太
政策提言事業	池田 満之、小玉 敏也、新海 洋子
国際連携事業	鈴木 克徳、三宅 博之、野口 扶美子
組織運営体制の検討	浅井 孝司、鈴木 克徳、福井 光彦
地域担当理事	【北海道】金澤 裕司 【東北】浅野 亮 【関東】鳥屋尾 健、小玉 敏也 【東海・北陸】新海 洋子、鈴木 克徳 【近畿】松田 直子 【中国】池田 満之 【四国】松浦 英人 【九州・沖縄】三宅 博之、與儀 滝太

～代表理事退任のご挨拶～

この度、特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議の共同代表理事を退任し、相談役に就任いたしました。

共同代表理事として就任以来、それぞれ当団体の使命の推進に大過なくその任を果たすことができましたのも皆様方のひとかたならぬご厚誼の賜物と心から感謝いたしております。誠にありがとうございました。

後任には鈴木克徳と小玉敏也が就任いたしますので今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

ESD-J相談役 阿部 治、重 政子



～新共同代表理事のご挨拶～

これまで長きにわたり共同代表理事としてESD-Jをリードしてこられた阿部 治理事、重 政子理事の後を受け、新たに共同代表理事に就任し、身が引き締まる思いです。

ESD-Jは、ESD for 2030、第2期ESD国内実施計画を踏まえ、昨年度「ESD-J2030年に向けた活動計画」を策定し、人材育成、政策提言、国際連携を3本の柱とする活動方針を定めました。今後の2年間は、そのための組織体制の再整備の期間と考えています。

2003年以来、ESD-Jが果たしてきた役割を踏まえつつ、今後のさらなる発展に向けて微力を尽くしたいと考えますので、皆様の温かいご支援、ご鞭撻をいただくようお願いいたします。

ESD-J共同代表理事 小玉 敏也、鈴木 克徳



なお、6月30日をもって代表理事のお二人に加え、宇賀神 幸恵理事、下村 委津子理事、大島 順子理事が退任され、それぞれ後任の地域担当理事にバトンが渡されました。

新しい理事をご紹介します！



浅井 孝司 (あさい たかし)

35年間、文部科学省（旧文部省を含む）勤務。主に国際畑を歩みユネスコ関係業務や国際協力関係業務に精通。2002年の持続可能な開発世界サミット（WSSD）を担当したところからESDに関与するとともに、ユネスコスクールの国内展開を推進し、ESDの普及に努めてきました。ESDの国内外連携や次世代リーダーの育成等に寄与したいと考えています。



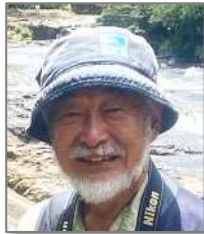
浅野 亮 (あさの りょう)

公立小学校教員・校長・教育行政として38年間勤務。気仙沼市教育委員会指導主事としてESD/ユネスコスクールを担当し、地域起点によるESDの展開と学校教育におけるカリキュラム開発・実践に取り組んできました。現在は、気仙沼市・宮城教育大学連携センター主任運営員として、大学や研究機関等との連携・協働による研修会の企画や運営、発信、海洋教育を基軸としたESDの推進等に携わっています。



金澤 裕司 (かなざわ ゆうじ)

北海道内の公立高校で生物の教員として35年間勤務後、羅臼町教育委員会自然環境教育主幹を15年間務めました。地域学習の体系「知床学」のカリキュラム編成を主導し、を通してESDを推進し、2012年に羅臼町内の幼小中高全ての学校がユネスコスクールに加盟しました。また、ESDアドバイザーとして活動し、北海道東部の各種学校へのESD普及に努めてきました。



野口 扶美子 (のぐち ふみこ)

日本とオーストラリアを拠点に、地域に根ざしたESDの実践、研究、政策提言、研修プログラム開発に、約25年従事。ESDの10年の間、ESD-Jの国際プログラムコーディネーターとしてESDを推進しました。ユネスコのコンサルタントを経て、2022年まで国連大学リサーチ・フェローを務めました。先住民など周辺化された人々とESD、気候変動避難民の地域づくりへ参加とエンパワメントが主な関心です。



松浦 英人 (まつうら ひでと)

2005年より11年間、徳島県の東みよし町観光担当、田舎暮らしを体験型観光でブランディングし、「一般社団法人そらの郷」を設立。そらの郷に出向し、課長兼マネジメントリーダーとして、世界農業遺産を背景とするSDG4.7(ESD)に軸足を置き、修学旅行や訪日教育旅行の受入れ拡大に努めてきました。今後も、地域ブランディングや、持続可能な社会の創り手育成に注力していきたいです。



松田 直子 (まつだ なおこ)

認定NPO法人環境市民副代表理事。環境計画や地域づくりコンサルティングに従事、2006年に（株）Hibanaを創業。2010年より「京都ペレット町家ヒノコ」を運営。ESD-Jでは近畿のネットワークを広げ、多様な方や団体をつなげる場づくりや、森や里山、農林業や仕事体験を通して繋げることができたらと思います。



與儀 滝太 (よぎ りょうた)

国立青少年教育振興機構に勤務。環境教育事業「美ら島サンゴ大作戦」や自然体験活動指導者の養成事業を担当。同機構における「環境教育推進プロジェクトチーム」の第1期メンバーとして活動しています。ESDユース会議への出席や社会人レポーターの活動をきっかけに出会った多くのユースや様々な実践家とのつながりを大切に活動しています。



車座トーク実施報告

「グretaさんを生んだスウェーデンの主権者教育・市民教育からみた日本の課題」 事務局 横田 美保

- 開催日：2022年6月19日15時～（総会終了後）
- 講師：両角 達平さん（日本福祉大学・講師）

日本福祉大学・講師の両角達平さんをお迎えし、「グretaさんを生んだスウェーデンの主権者教育・市民教育からみた日本の課題」というテーマで開催し、合計76名（講師1名・事務局4名含む）が参加しました。



両角 達平さん

日本と比較してスウェーデンでは、若者の社会変化への期待、社会参画、投票率、幸福度が非常に高いですが、その要因として「民主主義が生活に根付いていること」が挙げられました。そして、民主主義が根付くとはどういうことかを事例を中心にご紹介いただきました。ユースに焦点をあてた発表でしたが、スウェーデンは、あらゆる人（年齢・ジェンダー・国籍・エスニシティ・身体障害・思想信条等に関わらず）が参画できる社会を実現しているために、結果として若者の参画も活発となる仕組みが整っていることが分かりました。また、若者が社会人として政策、意思決定のプロセスに深く関与する「若者政策」の事例も日本社会の課題解決に大変参考となるものでした。

参加者からは、「日本の民主主義の未成熟さについて、何が足りないか反省させられました。」「啓発的アプローチ偏重ではなく、若者への実質的な影響力の付与が大切」といった感想や、「主権者教育に絡んで授業をつくりたい」「若者が社会参画できる環境整備に協力する。議員になる友人・知人を応援する、寄付する。」といった具体的なアクションを起こした

い、両角さんのお話から多くの気づきを得られたという感想が寄せられました。

<https://www.esd-j.org/news/11284>



たい水流の中に小さい沢蟹が生息しているのを発見しました。生きものを捕獲し種類を同定すると同時に、その生息環境についての話にも及びました。小さな森が保水の役割を果たし、その土に含まれた水が徐々に湧き出てきて、溜池に溜まっているのだと説明してくれました。米を育てている田んぼの水も、ここからの水を使っているので、生きものも人も森の恩恵で生きていることを講師から学びました。

11時に早めの昼食休憩をとり、昼休みの時間は、オオバコ相撲で、互いに戦いを挑んでは一喜一憂を楽しみました。

午後のプログラムでは、講師が作ってきたレジャーシート大の布の生態系ピラミッドモデルを使い、紙に印刷された植物や生きもののカードを並べ、更に、実際に捕獲した虫の入った虫籠も置いて生態系ピラミッドを作りました。



オオバコ相撲勝者

昼を過ぎて気温がますます上昇してきたので、プログラムを前倒して13時にいったん終了し、自由に帰宅できるようにしました。ただし、当初の終了予定であった14時までには残りたい家族は残って活動できるよう見守りました。



様々なトンボを捕まえました！



谷当の谷津田で捕獲された生きものは、カワニナ、ザリガニ、エビ、メダカ、アカガエル、アマガエル、オタマジャクシ、ゾウムシ、サワガニ、オオヒラタシデムシ、カタツムリ、バッタ、カマキリ、カブトムシ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、クロスジチョウ、シジミチョウなど。

アンケート結果は、8名全員が大変良かったとの回答、次回も是非参加したいが6名、参加したいが2名でした。

<https://www.esd-j.org/news/11748>

第2回「わくわく自然体験！」 ～様々な生きものとの出会い～



日時：2022年7月2日（土）9:30～14:00

場所：千葉県千葉市「堂谷津の里」周辺田んぼと野原

参加者：8名（うち子ども5名、保護者3名、スタッフ5名、講師3名）

共催：谷当里山計画NPO法人バランス21

協力：「わたしの田舎 谷当工房」

支援：公益信託大成建設自然・歴史環境基金

連日の熱波のなか、開始時刻を当初の予定より30分繰り上げ、少しでも暑さを避けるように工夫をして「わくわく自然体験」を実施しました。拠点となる広場にはテントを2張り立て、荷物置き場と休憩所を作りました。全員集合したところで講師と事務局を紹介し、注意事項を伝えたのち、広場の周りで自由に生きものの捕獲を楽しみました。



満腹なカエル

いったん拠点に集合し、バランス21の講師：書間初枝さんのガイドで、谷戸の奥にある溜池まで全員で散策しました。溜池の奥には水が湧き出ている小さな湿地があり、湧き出る冷



小金澤 孝昭さん



会員の皆様に悲しいお知らせをいたします。長年にわたりESD-Jの理事を務めてこられた宮城教育大学名誉教授の小金澤孝昭氏が、癌のため本年6月21日に享年70歳で逝去されました。

ESD-J関係者一同、謹んでお悔やみ申し上げます。小金澤理事は、昨年の暮れから闘病生活に入っており、一日も早い回復を皆が期待していたので、あまりにも突然の悲報に、声も出ませんでした。

故人は長年にわたり、宮城教育大学において教鞭を執りつつ、東北を中心とするESDの推進に取り組み、また、ESD-Jの理事として活躍してされました。最近では、ESD-Jの自主事業としてオンライン・セミナーシリーズを企画・実施するとともに、ESDに関する情報発信業務やローカルSDGs人材育成地方セミナー業務などで中心的な役割を果たすなど、ESDの発展のために多大な貢献をしてされました。大学関係の仕事も一段落し、これからますます活躍いただきたいと期待していた矢先の悲報であり、ESD-Jのみならず多くのESD関係者にとって多大なるショックでした。改めて故人の活躍を思い浮かべ、その貢献に深く感謝するとともに、心から哀悼の意を表します。また、ご遺族の皆様のお悲しみをお察し申し上げるとともに、故人の安らかなるご冥福を心からお祈りいたします。



小金澤 孝昭さん

ESD-J共同代表理事 鈴木 克徳

ESD-J オンラインイベント・養成研修のご案内

＜オンラインセミナーシリーズ『税とサステナビリティ』～お金と持続可能な社会の関係を考える～

- 第1回「公益法人の会計の基本」(仮) 講師：江副裕美税理士 9月22日(木)
- 第2回「公益法人の税務の基本と課題」(仮) 講師：神田博則税理士 10月20日(木)
- 第3回「税金と持続可能な社会のあり方」(仮) 講師：浅見哲税理士 11月17日(木)

詳細は決まり次第ウェブサイトに掲載いたします！

＜岡山ESDコーディネーター研修の企画・運営＞

岡山地域「持続可能な開発のための教育」推進協議会（岡山市市民協働局市民協働部SDGs・ESD推進課）より業務委託され、今年度で8年目となる岡山ESDコーディネーター養成研修の企画・運営を行うこととなりました。**11月25日**より**4回**の研修です。

<https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000038002.html>

詳細はこちら↓



ESDコーディネーター養成研修チラシ

＜生きものと田んぼの繋がりを学ぶシリーズ＞
オンラインセミナー＆ワークショップ

- 第2回『ツシヤママネコと田んぼのつながり』(仮題) 日時：11月20日(日) 14:00-16:00
- 第3回『渡り鳥と田んぼのつながり』(仮題) 日時：11月27日(日) 14:00-16:00

詳細は決まり次第ウェブサイトに掲載いたします！



◆編集後記：新型コロナウイルスに続いて、サル痘の感染者が日本でも確認されました。次々と新しい感染症が現れては、みるみる世界に広がっていきます。病気ひとつとっても、これまでの延長線で描くことができません。そんな未来を、持続可能にしていける人材をどうやったら育成していけるのか、ESDがますます重要な時代に入っています。



LINEアカウント開設しました!

特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-38-5 日能研ビル 201 T:03-5834-2061 F:03-5834-2062

会員募集中：正会員（10,000円）、準会員（3,000円）詳しくはWEBサイトをご覧ください

